

## 農業女性に インタビュー

農業に携わる女性として普段感じることや考えていることについて、アグリファッショングループの橋爪理恵さんと、帯広市川西農業協同組合女性部の宗宮泰子さんの2名にお話をうかがいました。

### ■(株)アグリファッショングループ

橋爪 理恵さん



2014年に、帯広市大正地区の農家ママ友3人で、農業用衣料や雑貨を販売するショップ「アグリファッション」を立ち上げました。カラフルな農業用つなぎや、農業用機械のミニチュアなどを販売しています。

### 創業して嬉しかったこと

やっぱりお客さんの喜ぶ顔を見るのが一番嬉しいですね。小さな子どもが、お年玉を手に、あぜ道を歩いて買いに来る姿や、完成した刺繍をお渡ししたときの

お客様の嬉しそうな顔を見ると、お店をやっている本当によかったと思います。当初は不安や心細さもありましたが、各地に出店させてもらい、いろいろな人と出会うことができて本当に楽しいです。

### これからの活動に向けて

普段はお店に立っていますが、収穫の忙しい時期は、農場を手伝ったりもします。これからも、十勝ガールズ農場と連携して、いろんなことをやっていきたいと思っています。

### ■帯広市川西農業協同組合女性部

宗宮 泰子さん



### 就農のきっかけ

私はもともと農家の出身ではありませんでした。愛媛県生まれで、昔からカウガールに憧れていたこともあり、農業といえは北海道だと思い、帯広畜産大学に入学しました。同級生だった夫と結婚し、今は、夫と私と長男で、酪農と畑作（大豆・小豆）を営んでいます。

### 農協女性部の役員を務めて

帯広市川西農協の女性部長を2年間務めました。女性部員は170名おり、役員は2年交代で全員入れ替わります。女性部の事業として、主に研修会などを行っています。

女性部は遊びだろうと言われることもあります。家族や周囲の人に研修会の内容などを話すことにより、今は前よりも女性部のことを理解してもらえようになったと思っています。

その一方で、女性は、家の事を済ませてからでないと外出しにくい雰囲気があると思います。また、妻が夫と同様に仕事をしていても、夫から見ると、妻に手伝わってもらっているという考えが残っているのかなと思います。

### 農業に携わる女性として

女性が知識をつけることも大切です。せっかく会議に出席しても、知識や話題がないと、上手く話をする事ができずに苦勞します。私も知識をつけるために、農業新聞を購読したり、農協女性部以外の活動にも積極的に参加したりしました。そうやって女性自身が学んでいくことも大切ではないかと思っています。



### ・家族経営協定とは…

家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、世帯員相互間のルールを文書にして取り決めたもの。

### 男女共同参画に関する用語集



★帯広市で家族経営協定を締結している農家数は695戸中162戸  
(平成28年度)